

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	ファミリーホームの運営						掲載ページ		
							150		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		38,633	千円	65,938	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	家庭的養護を促進することで、児童間の相互作用を活かしつつ、児童の自主性を尊重し、基本的な生活習慣を確立するとともに、豊かな人間性及び社会性を養い、児童の自立を支援します。			活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	ファミリーホーム移行可能な里親に打診し、開設を促します。平成23年度は1箇所増設しました。				
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】
	ファミリーホーム実施箇所数				活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	ファミリーホームの運営により、家庭的な養育環境を整え、児童の自立を支援するため、指標として設定しました。	3 箇所	4 箇所	4 箇所	
	(最終目標と最終年度)ファミリーホーム移行可能な里親に開設を促す			100.0 %	大変順調
(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	事業が予定どおりに進んでいるため順調としました。また、ファミリーホームは、家庭的養護の中できめ細やかで手厚いケアができ、子どもの健やかな成長に有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	家庭的な生活の中で児童と関わっていけるため、児童の基本的な生活習慣の確立や健全育成にとって、効果が高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
24年度は、1か所のファミリーホームの改築を行い、子どもの健やかな成長のために環境整備を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	家庭生活体験事業(一日里親事業)の拡大						掲載ページ		
							150		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		12,589	千円	12,000	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	児童養護施設等入所児童に家庭生活を体験させることで、児童の社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立を促進します。			活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	家庭生活体験事業を各施設に周知し、利用促進を図ります。				
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】
	家庭生活体験児童数	231 人	児童それぞれの状況に合わせて家庭的生活を体験できるようにすること。	240 人	大変順調
	施設入所児童に家庭生活を体験させることにより、児童の社会性の涵養、情緒の安定を図り、退所後の自立を促進するため、体験児童数を指標としました。 (最終目標と最終年度)				順調
	(最終目標と最終年度)			遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	児童養護施設の入所児童は、家庭生活での基本的習慣などを体得しにくい環境にあるため、体験させることで退所後の自立を促進できます。また、家庭の中で、児童と個別にかかわることができるため、処遇の個別化にもつながり有効と考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	児童養護施設に入所しながら、短期間でも家庭生活を体験する中で家庭的な愛情を感じ取ること、児童の心身の健やかな成長にとって有意義なものであり、処遇の面で非常に効果的です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
児童養護施設等入所児童に家庭生活を体験させる当事業を推進し、児童の社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立を促進します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	里親促進事業						掲載ページ		
							150		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		4,576	千円	3,952	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子ども総合センター

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	保護を要する子どもに対して、より家庭的な環境で愛着の形成を図ることができる里親委託を推進するため、児童福祉法に基づき、里親制度の普及啓発、里親のための研修・相談・援助など、里親の支援を総合的に実施します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	里親・ファミリーホーム委託の推進を図ります。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】		
	要保護児童数に対する里親・ファミリーホーム委託率	11.4 %	-	13.2 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	国の「子ども・子育てビジョン」(H22.1.29閣議決定)においても、成果指標として設定されており、成果を示す最適な指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) 15%(26年度)							大変順調
	(最終目標と最終年度)					順調		
(最終目標と最終年度)					やや遅れ			
						遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市のホームページや市政だよりへの掲載、出前講演などを通じ、里親制度の普及啓発に取り組むとともに、里親サロンの開催等を通じて、里親相互の交流による精神的負担の軽減や養育技術の向上を図りました。 登録里親数は7世帯増の75世帯、ファミリーホームは1箇所増の4箇所となり、要保護児童の里親・ファミリーホーム委託率は、上昇しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	最小の経費で最大の効果を上げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて、運営しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>本事業は施策に対する有効性も高く、社会的養護を必要とする子どもを支援するうえで、重要な事業の一つであり、今後も目標の達成に向け、着実な取り組みを進めていくことが必要だと考えています。</p> <p>制度の広報や研修等により、登録里親の増加、資質向上を図るとともに、里親相互の交流促進や定期訪問を通じた支援を行い、里親委託を推進していきます。</p>